

このテキストは

2022年10月27日

日本認知症グループホーム協会
全国大会にて発表したものです。

笑顔で迎える 人生の卒業式・・・

家族に寄り添う 看取り・見送り

グループホーム

レモンの里

三重県 津市

お母様の看取りを終えて、くつろいでいる姿です。



この後、レモンの里でホーム葬です。





この写真は、2017年に亡くなられた方の祭壇です。

レモンの里で普通に暮らしてこられた方



2006/01/02 14:03

グループホームは、当初、認知症の方の
仮の棲家の位置づけであった。

しかし3年・4年と共に暮らす中で、
この方たちの最後まで見届けたいと
願うようになった。



実のご姉妹で入居し、仲良く暮らされた方。

2011/10/09 15:44

2005/04/15 14:53



ご先祖を大切にされる方。



キッチンで職員と一緒に過ごす
ことが大好きな方。

2014/10/25 18:06

笑顔が増え、ご自分の思うように過ごされる方。



2006/05/07 09:48

私たちが、看取りと、お見送りをしたいと
思った『きっかけ』をご覧ください。

訪問看護師の方が、『湯灌』…清拭…をされる姿を見た。

プロ(葬儀社)でなくとも、できることだと感じた。

だったら、私たちが『おくりびと』になろう。!!



2009/06/28 17:44

病院での延命を望まず、看取りのためにレモンの里へ戻られた『静枝さん』を中心に、他の方の事例を加えて説明します。

- ◎自然死を迎えることを覚悟して、レモンの里に戻られた。
- ◎退院したことで、本人は安堵された。
- ◎4か月後にレモンの里で亡くなられた。

病院では、摂食を拒否していた静枝さん、レモンの里に戻られ、予想外にお元気で、笑顔を見せていただいた。

出迎えた職員は思わず拍手。
静枝さんは、職員の笑顔に合掌された。



ご家族への心のケアの必要性

ご家族は、かけがえのない親が、死を迎える現実に直面している。

少しでも長生きしてほしい。

穏やかに死ねるだろうか。

臨終に立ち会えるだろうか。

何をすればよいだろうか。

ご家族の『心のケア』…として取り組んだこと

- ① コロナ禍であるが、面会の機会・時間の確保。
- ② 付き添い家族の、宿泊環境の整備。
- ③ 老衰死・自然な死についての、理解・心の準備。
- ④ 思い出話・ご本人の心意気などの話し合い。
- ⑤ ご家族も支援に参加する。
- ⑥ 死に向かう身体状況の変化に動搖しない対応。
- ⑦ レモンの里のホーム葬についての説明、希望のすり合わせ。



ご家族・職員で協力して湯灌と納棺

50年ほど前の日本では、

おじいちゃん・おばあちゃんが亡くなると、近所の方が集まってお体を清めた。

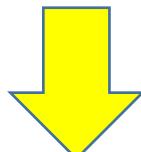
障子・ふすまをはずし、祭壇を作り、平服でお通夜。

近所の方が普通に集まって、女性は炊き出し、男性は葬儀の手伝いなどの協力体制。

住職・参列者は、故人の思い出話をされ、天寿を全うされたことを祝福された。

通夜・葬儀の後は、お酒も出て、参列者の交流の機会になっていた。

お経・葬儀は故人のためだけでなく、生きている人のためにある…という考えであった。



ご家族・職員・レモンの里にかかる人達で、人生の卒業式として祝福しよう。

棺をお部屋から祭壇へ。 ご家族・親族が運びます。 (平服)



レモン葬のコンセプト……ご家族ケアの総まとめ

- ① プロ(葬儀社)がかかわらない、職員と家族での手作り葬。
- ② ありがとう・感謝を表現する。
- ③ 信仰を尊重する。
- ④ 人生の卒業式として祝福する。
- ⑤ 季節の花いっぱい、温かく、華やかに見送る。
- ⑥ 共に暮らした入居者さんの参列。



無宗教です。 遺影写真はご家族の集合写真です。

お花は、家族と職員で買いに行きます。

その間に、男性は市役所へ死亡届提出です。

お花は、娘さんの大切な役割です。

亡くなられた方が好きだった花・色など、季節に合った花を探します。

その時に、思い出話などを聞かせていただき、その思いを表現できる花を選びます。

お花を選んでいるうちに、

お父さん・お母さんを色とりどりの花で華やかに飾り、祝福する気持ちになってこられます。

できるだけ、自宅の花、レモンの里に咲く花を加えて、日常も表現します。

華やかに、お元気な時の写真
も飾ります。



導師(住職)の読経風景です。

ほとんどの住職が、このような葬儀社の入らないこじんまりとした葬儀に戸惑われます。

色々な例があります。

家族が平服・華やかな花で飾られた祭壇・白生地でなく、琉球紅型の祭壇クロス。

時には、線香・ロウソクがなく、焼香もない。

祭壇の形式がそれぞれ異なる・葬儀社の人が居ない。……等

住職としては異例のことが多く、最初は戸惑われます。

しかし、そのうちに、葬儀のなごやかな雰囲気に賛同されます。

参列された方々に、お話や語りかけをされ、最後に『温かいご葬儀でした。』…と笑顔を見せていただいています。

明るい式場です。 入居者も一緒に参列されます。









ひ孫さんとおばあちゃん 笑顔で
動画を撮っています。

出産まじかで、来られない家族に、ビデオ通話で、参列してもらっています。





仲良くしていた友達とのお別れです。



静枝さんのお姿を何枚かご覧ください。







開業医と牧師さんとの座談会……両氏の結論

良い死を迎える。……

それは、…どのように生きてきたか…に、よります。

だから、生きている今を大切にしましょう。



2019



2019/07/28



2018/03/18 16:10



2021/12/05







2017/12/29 11:33

コロナ禍のため、屋外でお別れです。







職員の演奏で、ゆりかごの歌などの、平素親しんでいる歌でお見送りです。

入居者さん全員がお見送りです。

この後、入居者が必ず言われる言葉があります。

『私の時も、こんなお葬式にしてください。』





効 果

ご家族がレモンの里の支援者になってくれる。

職員が団結できる。 資質の向上になる。

入居者さんが落ち着く。

おすすめ

ご紹介した取り組みは、私たちが時間をかけて積み上げてきたものです。

全てのホームの活動は、**ご家族の思いに寄り添うこと**から始まります。

ご自分のホームで出来ること、独自の取り組みを考えてみましょう。

出棺後の職員の姿です。 良かったね。!!

頑張れたね。!! やり遂げたね。!!





火葬が終わって、斎場の控室です。 家族も、職員も……よかつたね!!……

ありがとうございました。

レモンの里 倉田典子

番外編です。

書家であり、後進の指導をされていた こと さん。

ユーモアを込めて、私たちのために書いていただいた言葉。

七福人

楽しい うれしい

春

今 やるべし

私たちの心にいつまでも残ります。



よくお尋ねがあるのですが、

なぜ、ご家族と思い出話・心意気などの話をすることが大切なのですか？

身体状況の変化に動搖しないために、何が必要ですか？

棺はどこで売っていますか？

火葬の手続きはどうするのですか？

お墓はどうするのですか？

素人が勝手にお葬式をしてよいのですか？

散骨は合法ですか？

色々なノウハウがあります。 交流して、お互いに前進しましょう。

ホームページから質問してください。

レモンの里⇒検索

直接電話でも結構です。 090-2613-4794 倉田成文